

1989年

1.原著論文

- ・ 宗像恒次:医療従事者のストレス,九州神経精神医学,35(1),1—9, 1989
- ・ 宗像恒次:医療従事者のストレスと燃えつき予防,精神保健, 34, 1—9, 1989
- ・ 宗像恒次:セルフケアとソーシャルサポートネットワーク,日本保健医療行動科学学会年報,4,1—20,1989
- ・ 高見沢恵美子,田原裕子,宗像恒次:四肢切断者の退院後の自己価値観、東京女子医大看護短大研究紀要, 10(11),75—80, 1989
- ・ 宗像恒次:社会変動と生活様式へのインパクト,ストレスと人間科学,4, 20—26, 1989
- ・ Munakata,T: Stress-coping and traditional health care utilization in Japan,S.R.Quah(ed.), 75—100,Singapore:Institute of Southeast Asian Studies,1989
- ・ Munakata,T: The socio-cultural significance of the diagnostic label“Neurasthenia” in Japan’s mental health care system,13,203—213, 1989
- ・ 宗像恒次:メンタルヘルスと社会科学,上里一郎他監修「メンタルヘルスハンドブック」,同朋舎出版,47—59, 1989
- ・ 宗像恒次:保健行動学からみたセルフケア,中川米造,宗像恒次編,「医療・健康心理学(応用心理学講座 13)」,117—131,福村出版,1989
- ・ 宗像恒次:1 健康と病気のストレスモデル,中川米造,宗像恒次編,「医療・健康心理学(応用心理学講座 13)」, 福村出版,22—46.1989

2.その他の論文

- ・ 宗像恒次: リーダシップ能力の育成,心の健康,37,4—11, 1989
- ・ 園田恭一,米林喜男,宗像恒次:医学教育における行動科学の研究,医学教育研究助成成果報告書, 17—33.1989
- ・ 吾郷晋浩,石川俊男,宗像恒次,永田碩史,野村忍,諏訪茂樹,宮城薫:ストレス・マネジメントの在り方に関する研究,昭和 63 年度厚生科学研究報告書,44.1989
- ・ 野崎貞彦,坂本弘,藤縄昭,宗像恒次,山本和郎,三宅健夫:ストレスの定義及び判断基準に関する予備研究,昭和 63 年度厚生科学研究報告書, 1989
- ・ 宗像恒次:医療行動科学,看護技術,501,11, 1989
- ・ 宗像恒次:問われる医師—患者関係,からだの科学,76,106—111, 1989
- ・ 宗像恒次:教師のストレスを考える,青年心理,76,82—88, 1989
- ・ 宗像恒次:ストレス予防の生活指導—健康心理学の立場から,心身医療,1(5),647—653, 1989
- ・ 宗像恒次:病人のストレスと人生の質,教育と医学,37(8),785—791, 1989
- ・ 宗像恒次:心身の病理を生むもの,メディカル・ヒューマニティ,4(3),17—26, 1989

3.著書

- ・ 中川米造,宗像恒次編著:「医療・健康心理学」,福村出版,389, 1989

4.口頭発表(抄録)

- ・ 宗像恒次:特別講演—保健行動,第 15 回高知女子大学看護学会集録, 3—29, 1989.8
- ・ 宗像恒次:シンポジウムベルスプロモーション,第 4 回日本保健医療行動科学学会大会抄録, 4, 1989.6
- ・ 高見沢恵美子,宗像恒次:透析患者の QOL, 日本看護研究学会雑誌, 12(臨時増刊), 146, 1989.8
- ・ 高見沢恵美子,田原裕子,宗像恒次:四肢切断者の社会復帰,日本看護研究学会雑誌,12:2,51, 1989.8
- ・ 高見沢恵美子,田原裕子,宗像恒次:透析患者のセルフケア,第 4 回日本保健医療行動科学学会大会抄録, 12, 1989.6